

2020年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2020年7月26日

発行人

日本基督教団 関東教区 埼玉地区委員会

委員長 小林 眞

さいたま市岩槻区本町4-3-15

http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/

印刷所 (株)シャローム印刷

総会報告

大坪直史

2020年度埼玉地区総会は、当初、3月20日(金・休)、埼玉和光教会にて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して、3月初めに、2011年の東日本大震災時以来の開催延期とし、4月29日(水・休)、武蔵豊岡教会にて開催を予定しました。4月に入ってもなお感染拡大の収束が見られないため、4月29日に地区史上初の地区総会書面開催を行いました。

今回は地区内諸教会伝道所へ、議決権行使書と地区委員選挙の投票用紙を郵送し、返送期日は4月28日(火)としました。集計・開票作業は翌29日(水・休)、初雁教会にて地区四役で行いました。議決権行使書の返却総数は正議員134名中104名でした。その他結果は下記の通りです。

(1) 2019年度地区諸報告、地区会計決算報告及び会計監査報告等は、賛成多数で承認されました。

(2) 地区委員選挙(地区委員長は任期中で改選はありません)

教師は金田佐久子(西川口・再)、末永廣(小川・新)、山岡創(坂戸いずみ・新)、信徒は国府田秀行(上尾使徒・新)、本田彰(大宮・再)が選出されました。任期継続中の教師は

大坪直史(熊谷)、栗原清(武蔵豊岡)、指方周平(東所沢)、信徒は大熊眞弓(東京聖書学校吉川)、酒井道雄(浦和東)です。なお、教師の町田さとみ(初雁)と信徒の栗原初音(浦和別所)は二期四年を満了されました。(敬称略)

(3) 2020年度宣教活動計画について
地区主題は「主にある交わりを深めよう」、聖句は「御言葉(言・ロゴス)を教えてもらう人は、教えてくれる人と持ち物(良いもの)をすべて分かち合いなさい(交わり・コイノニア)」。ガラテヤの信徒への手紙6章6節)を新しく掲げました。詳細は議案・報告書を参照してください。今回は書面開催のため、質疑応答は行われませんでした。賛成多数で可決されました。

(4) 2020年度予算は、コロナ感染症拡大の影響を見越して、当初予算案の地区分担金75%減額案を上げ、賛成多数で可決されました。

(5) 議案第7号地区会計監査委員選出、第8号地区総会議事録確認、第9号次回地区総会会場及び日程については、地区三役付託が賛成多数で可決されました。
今回、初めての書面開催でしたが、

地区内諸教会伝道所の皆さまには、ご理解とご協力をいただき、無事に開催できましたことを心から感謝申し上げます。

他方、この3月で地区内諸教会を辞される幾人かの先生方と地区の最後のお交わりをいただくことができず、大変残念でした。諸先生方には地区における主にあるお交わりと豊かなお働きを心より感謝し、新しい日々の上に主の豊かな祝福・恵みを祈ります。

最後に、今年度の埼玉地区の歩みも主の御栄光のもとに、実り豊かなものとされますよう、またコロナの一日も早い収束と、皆さまの主にあるご健康が守られますよう、お祈り致します。(地区書記)



※写真は初雁教会で開封作業中の小林眞地区委員長



英国の画家ホルマン・ハントの絵

「世の光」は、ヨハネ黙示録3章20節を主題に描かれた聖画だそうです。

鶯の絡まる戸口に立つご復活の主イエス・キリストは、左手にランプを持ち、右手でトントんと戸を叩いておられる様子が描かれています。この画の特徴は、戸口の外側には取っ手が無いことです。

わたしたちは、コロナウイルス感染拡大による恐怖と国の非常事態宣言の中で自粛し、多くの教会は、主日礼拝をネット配信や文書による家庭礼拝で守り、聖餐に与ることも愛餐もない教会生活を経験しました。しかし、私たちは、新たな試みの「家庭礼拝」を通して不安と暗闇の中にいる心の戸口に、ランプを手にして立つご復活の主イエス・キリストのみ声に気付かされたのではないのでしょうか? 「だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼も又、わたしと共に食事をするであろう」と。

私たちは、「世の光」なる主イエス・キリストを迎え入れ、主を賛美しつつ新たな希望をもって歩む生き方を求められているように思います。(茨木)

新地区委員のご紹介

すべてを神さまに委ねて

西川口教会 金田佐久子



2年前の猛暑が引き金となって、同居している父

(現在93歳)

が体調を崩し、その秋には要介護4の認定を受け(今も継続中)、その年の12月から在宅介護が始まりました。身体への介助に多くの時間を割くことになり、配偶者もなく子育てをしたことのない私は、介護によって「人並の苦勞をようやく味わっているのかな」と思っています。ショートステイから父を礼拝に送迎することを通して(今はコロナのためお休み)、家族と共に礼拝に来ることも並々ならぬ苦勞があることを改めて知りました。さらに、人が尊厳をもって、その人らしく生きていくとはどういうことなのかと思いを巡らしています。地区委員に選ばれましたが、できることしかできません。今、あるがままの私を差し出すばかりです。神様にゆだねます。引き続きホームページ委員と、新たに地区通信委員会を担当します。

神のご意志を求めつつ

小川教会 末 永廣



この度、3度目の地区委員を引き受けることになりました。まず、

これまでの地区委員会活動において、与えられたご指導と深い交わりに感謝いたします。この度は、会計の任をもつて

地区にお任せさせていただきました。自らの不慣れと作業力の貧しさ故、皆様に種々のご迷惑をお掛けすることをお許し頂き、ご指導ご鞭撻を頂くことで、与えられました委員会の分掌を無事に果たして参りたいと願っております。

コロナ感染拡大防止に起因する様々な困難の中で、小川教会も三度目の地区委員の奉仕に、祈りをもって送り出してくれましたので感謝です。

2度目の反省を活かし、3度目も地区の教会形成伝道に関する諸題のために、聖書に示されている神の御意志を求めつつ、地区委員会の働きに奉仕していきたくと祈り願っています。地区委員会、諸教会の働きの上に主の導きを祈ります。

対話のできる地区に:

坂戸いずみ教会 山岡 創



もう10年以上前になるので、上前になるでしょうか、教団総会において、議案の賛

成反対や、選挙において投票する対象議員を指示する書面が多数の議員に渡されていることが発覚しました。それは「憲教規違反ではないから問題ない」とされ、やがてその動きは関東教区総会へ、埼玉地区総会へと降りてきました。私は、その方法に異を唱え続け、そのような選挙で地区委員に選ばれることを拒否して来ました。

今回、新型コロナウイルス感染下で通常の総会を行えず、意見を述べられないまま議決権行使書によって選ばれました。特殊な状況で辞退もどうかと思い、諸教会・伝道所のためにできることをしようと思えます。

2区の教師会で、コンセンサス・ビルディングの話をされた方がいました。信仰的な思想や意見は多々ありますが、私は、対話のできる地区でありたいのです。

地区委員に選ばれて

上尾使徒教会 国府田秀行



この度、地区委員に選出された上尾使徒教会信徒の国府田秀行と

申します。2014年度から2期4年間、地区委員にお選びいただきました。不十分な働きながらも、多くの恵みに与かり、まさしく感謝すべき4年間でした。思い返すと反省すべきことの方が多のですが、それでもなお埼玉地区内の交わりの方が印象に残っています。

埼玉地区の活動は、教会は違えど、ともに主の教会に連なる一人ひとりの交わりであることと実感させられます。今回その交わりに関わることができ感謝です。

現在のコロナ禍は、教会にとってこれまでに経験したことのない課題だと感じます。しかし主にある交わりをもって、ともに手を取り合い、一緒に歩んでいけることに期待しております。微力ながらもお手伝いできれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

地区委員に選ばれて

大宮教会 本田 彰



前回はじめて地区委員を務めさせていただきましたが、何も役に

たてないまま終わってしまつたと反省しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため各教会が、大変な状況下にある中で、今の自分が地区委員として何ができるのかを問いながら、励んでいきたいと思っています。

埼玉地区は、関東教区の中心的な地区としての役割があると考えています。そのためには、祈りと思いを一つにしながら歩みを共にすることが重要だと認識しています。それには何が必要かをお互いの考えを持つての一年間の地区の活動となることを願っています。

これからの教会の課題のキーワードは、「教会員の高齢化」と「青年・子ども」だと思います。様々な地区の活動や交わりを通して情報を共有できる地区の歩みになればと願っています。

よろしくお願いたします。



新任教師ご紹介

十神様の不思議なご計画

聖学院教会 赤田 直樹



私は、「キリストの教会」という小さな教会の中

の、おそらく一番小さい教会の牧師家庭に生まれ育ちました。学生時代には「デイサイプルス派」の伝統の聖学院大学で学び、献身の後には滝野川教会、秋田高陽教会と、どちらもデイサイプルスゆかりの教会で過ごして来ました。

秋田に在任中、両教派について調べる機会があったのですが、何と母教会のグループ「キリストの教会」と「デイサイプルス派」は、日本宣教時には同じグループであったことや様々な経緯を経て別々になったことを知りました。

ストーン・キャンベル運動と呼ばれるこの働きの中で、一番小さな教会に生まれた私が、この運動の一番最初の地、秋田で15年過ごした後、この運動の一番若い聖学院教会に遣わされるとは、神様のご計画は本当に不思議です。

こんな私ですが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

十主から与えられて2か月

埼玉大通り教会 稲益久仁子



この度、埼玉大通り教会主任担任教師に就任しました。

出身は北海道名寄市です。名寄市は北海道の北部に位置し、雪深くとても寒い地域です。真冬にはマイナス30度にもなり、空気中の水蒸気が凍るダイヤモンドダストがとても綺麗なところでした。

4月から聖書研究や毎週の礼拝を教会の皆さまと共に歩ませていただくことを心待ちにしておりました。しかし、コロナ感染拡大に伴い、教会に集まっていたの礼拝はできなくなりましたが、それから2カ月が過ぎ、少しずつ集うことが許され、感謝しています。この2カ月間を準備期間とし、心を落ちつける大切な時間を主から与えられたと感謝しています。

人々の声に耳を傾け、魂に配慮ができる牧会を心がけ、土地と人を愛し尽くし、粘り強く牧会・伝道を目標に励みたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

十開拓伝道の余韻を感じつつ

所沢みくに教会 加藤 久幸



この度、所沢みくに教会に赴任した加藤久幸と申します。

今まで経験した教会は、東北・新庄教会、西東京・三鷹教会、関東・水海道教会です。今回の所沢みくに教会は、私には「開拓伝道」の余韻を感じさせてくれます。

前任の最上光宏牧師は、私の母教会の奥羽・弘前教会の牧師もされていましたので、若い頃から親しい交わりをいただいており、大変アットホームな感じで迎えていただけていることを実感しています。

教会は今年、創立50周年を迎えます。また、赴任は、コロナ禍を契機とする渦中の転任でした。それ故、教会で話し合う時が来たら、今までの歩みを確認しつつ、これからの教会のあり方・活動についてよく話し合い、進めていきたいと願っています。

埼玉地区は初めてです。よろしくお願いいたします。

十もう一つの働きの中で

所沢みくに教会 加藤輝勢子



4月から所沢みくに教会の副牧師として着任しました加藤輝勢子

です。「新型コロナウイルス感染拡大」の中、教会員やCSの子どもたちと会うことができず、現状ですが、皆様のお祈りに覚えられていることを感じ、とても感謝です。牧師として、もう一つの仕事、(一財)本所賀川記念館で働いております。

平日の地区の集まりには中々参加できません。前任地も関東教区でした。

所沢みくに教会は役員会を中心に一人ひとりがそれぞれ自分のできることを奉仕する教会であるように感じます。一日も早く、皆さんと礼拝し、お話しや活動ができるようにと祈っております。

埼玉地区の皆様ともいづれ時が許されて、お目にかかることができると思います。どうぞよろしくお祈りいたします。



十主の恵みに感謝しつつ

越生教会 佐藤 彰子



4月に越生教会に着任しました。この牧師館は、今は教会とは

別組織の幼稚園の園庭の奥にあります。今までコロナで登園できなかった子どもたちがやと姿を現し、ほっとする思いでいます。

礼拝休止の間、説教の原稿と週報を役員の方々が配ってくださり、教会に集まらない皆さまを支え、また新しく来たわたしに一つ一つの教会の歴史、教会員の様子を教えてくださいました。無牧となった昨年1年間、代務の山岡創先生を中心として、近隣の多くの先生方が礼拝説教を引き受けてくださり、教会員の学びも豊かに行ってくださいました。すべてを整えて下さった主の恵みに心から感謝しています。

全くの歩き始めの私ですが、これから埼玉地区の皆様のお交わりに入れていただき、共に祈り学んでいきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

地区委員会報告

2019年度第八回委員会

日時 4月16日(金)

会場 大宮教会

出席 9人

陪席 1人

主な報告

●地区内の教会・教師の報告

●就任

・越生教会

(主) 佐藤彰子(准允予定)

・埼玉大通り教会

(主) 稲益久仁子(准允予定)

・所沢みくに教会

(主) 加藤久幸(正)

(担) 加藤輝勢子(正)

●辞任

・越生教会(代) 山岡 創(正)

・埼玉大通り教会

(主) 川添義和(正)

・菖蒲教会 (担) 佐藤繁(補)

・所沢みくに教会

(主) 最上光宏(正)

・和戸教会(主) 三羽善次(正)

(担) 三羽敦子(補)

●隠退

●書記・補助書記報告

地区委員会と社会委員会と

地区通信委員会との話し合い

(3月15日(日)、岩槻教会)の

件。要点は二点。一点目は『埼

玉の夜明け』(2018年8月

5日発行)の文中にある「不適

切な戒規の事例」という表現

について。本間委員長が訂正文

を掲載することとなった。訂正

文の文言については本間委員

長と地区三役でまとめる。二点

目は『埼玉地区通信』と『埼玉

の夜明け』の合本解消につい

て。この件については話し合い

を継続することとなった。

以上、承認した。

●主な協議事項

1. 地区総会に関する件

①開催の仕方について

地区総会は議決権行使書をも

つて書面開催とする。議決権

行使書等の受付期日は4月28

日(火)必着。開票作業は4月

29日(水)、地区三役にて行う。

以上、可決した。

②2020年度地区会計予算

案(変更案)について

地区分担金について、約75%

減額する。予算の不足分は地区

の伝道会計より支出する。本案

を総会議案として提案する。以

上、可決した。

2. 新型コロナウイルス感染症

流行の予防と対策について

別紙「埼玉地区からのお知らせ」

を地区内諸教会・伝道所

に郵送する。以上、可決した。

3. 教区総会設置に関する件

諸奉仕担当者への選任につい

ては3役に一任する。

以上、可決した。

4. 次回以降地区委員会予定

日時・場所については3役

に一任する。

以上、可決した。

●閉会祈祷 栗原 清

2020年度第一回委員会

日時 5月12日(火)

会場 大宮教会

出席 11人

陪席 1人

主な報告

●地区内の教会・教師の報告

●就任

・聖学院教会

(主) 赤田直樹(正)

●主な協議事項

1. 地区委員の担当・役割分担

の件

委員長 小林 眞

副委員長 栗原 清

書記 大坪直史

会計 末 永廣

補助書記 本田 彰

補助会計 大熊眞弓

伝道 山岡 創

教育 指方周平

社会 大坪直史

教師 栗原 清

地区通信 金田佐久子

H P 金田佐久子

修養会 小林眞、末永廣

壮年部 国府田秀行

婦人部 山岡 創

青年部 指方周平

障教懇 酒井道雄

教会音楽 大熊眞弓

崎宗連 三役に一任

同宗連 三役に一任

教誨師 小林則義、澁谷弘

祐・委嘱連絡係・末永廣

カルト問題連絡係・小林眞

2. 地区総会付託議案に関する

件

議案第7号「埼玉地区会計監

査委員選任の件」、第9号「次回

地区総会会場及び日程の件」

について議案別に確認し、3役

一任とする。

以上、可決した。

3. 地区委員会主催集会等に関

する件

①地区総合協議会日程、会場に

関する件

日時・2021年2月12日

(金) 19時 会場：未定

②伝道協力協議会に関する件

3役に一任。

以上、可決した。

4. 教区総会設置に関する件

継続審議とする。

5. 地区委員会日程及び会場等

の件

第2回 7月7日(火)

第3回 9月8日(火)

第4回 11月10日(火)

第5回 1月12日(火)

第6回 2月16日(火)

会場：大宮教会

以上、可決した。

6. 地区委嘱状の件

地区月報8月号に掲載する

「埼玉地区各委員会・各署名

簿」をもって委嘱状に代える。

以上、可決した。

●閉会祈祷 栗原 清

編集後記

コロナウイルス感染症の収

束を願いつつ、今号は、書面開

催総会報告、書面選挙で選ば

れた新委員の抱負、また、地区の

4教会に就任された5人の教

師に、ご挨拶を寄せていただき

ました。毎年、新年度のこの時

期に開催予定の各委員会、部会

の活動が、コロナ感染拡散防止

を考慮し、自粛して活動見合わ

せ状態のため、今回、地区通信

は、4ページの編集としまし

た。また、今号から紙面の漢数

字を算用数字に変更し編集す

ることにしました。ご了承ください。

梅雨の季節、九州をはじめ全

国各地で豪雨による甚大な被

害が発生し、被災された多くの

方々のことを思います、その

方々の上に、主の慰めを心から

祈ります。

(茨木)